

総合計画上の位置付け

施策の大綱	保健・医療・福祉の充実	施策の目的	誰もが生きがいを持てるまちづくりを進める	施策	障がい者福祉
-------	-------------	-------	----------------------	----	--------

主要事業と関連部署

施策の方向	事業名	部署名
障がい者福祉施策の充実	基幹相談支援センター事業	社会福祉課
共に生きる社会づくり	自発的活動支援事業	社会福祉課

目標

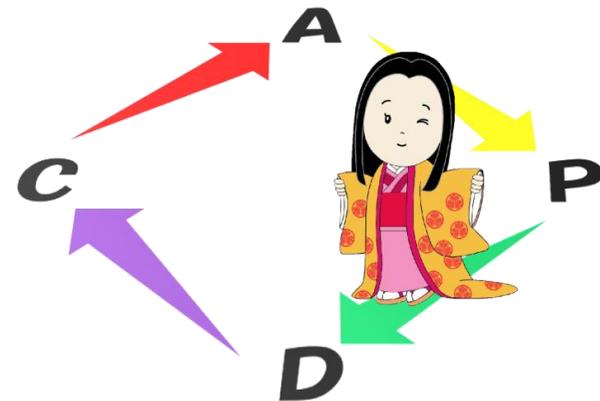
指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
障がい者福祉に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	16.3%	21.3%

令和2年度の実施状況への意見

行政改革懇談会(市民)からの意見

障害のある人もない人も、地域で自分らしく暮らすことのできる共生社会の実現は大切なことである。障がい者の労働環境整備に早急に取り組む必要があると思う。必要不可欠な事業であり、今後も継続的に取り組みを強化していただきたい。

目標の達成状況



事業の説明

事業名	基幹相談支援センター事業			
担当	社会福祉課			
予算科目	一般会計			
	3款	1項	2目	3事業
事業の目的	障がい者本人、家族、支援者などからの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護などの支援を行い、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	保健・医療・福祉の充実
施策の目標	誰もが生きがいを持てるまちづくりを進める
施策	障がい者福祉
施策の方向	障がい者福祉施策の充実

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	3,681千円
	うち 特定財源	2,761千円
成果目標		150 件
実施内容と改善点		
障がい者本人、家族、支援者などからの相談・訪問等に応じ、必要な情報提供や関係機関との連携等、必要な支援を行う。また、地域における相談支援体制づくりのための各種会議・研修会も行う。広く周知を行い、初年度よりも相談件数を増やしていく。		

令和2年度	決算額	3,660千円
	うち 特定財源	1,593千円
成果実績		139 件
当初の成果目標		— 件
実施内容と改善点		
令和2年度からの新規事業。障がい者本人、家族、支援者などからの相談・訪問等に応じ、必要な情報提供や関係機関との連携等、必要な支援を行った。また、地域における相談支援体制づくりのため、各種会議を行った。開設初年度であったことと、コロナ禍であったことより、相談件数はまだ少ない状況である。		

令和元年度	決算額	—
	うち 特定財源	—
成果実績		— 件
当初の成果目標		— 件

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	相談件数139件。地域における相談体制強化のための会議等の開催（相談支援事業所連絡協議会：3回、事例検討会：2回、障がい者・障がい児事業所連絡会：各1回ずつ）。
分析	初年度ということもあり、相談件数はまだ少ない状況だが、今まで職員が実施していた相談支援業務の移行を進め、基幹相談支援センターで対応する相談件数の総数を増やしていく。各種会議の開催を継続し、地域の相談支援体制を整えていく拠点になるよう展開していきたい。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		件
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
件		件

事業の説明

事業名	自発的活動支援事業			
担当	社会福祉課			
予算科目	一般会計			
	3款	1項	2目	3事業
事業の目的	障がい者等、その家族、地域住民等による地域における自発的な活動を支援することで、心のバリアフリーの推進及び共生社会の実現を図る。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	保健・医療・福祉の充実
施策の目標	誰もが生きがいを持てるまちづくりを進める
施策	障がい者福祉
施策の方向	共に生きる社会づくり

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	568千円
	うち 特定財源	426千円
成果目標		6件
実施内容と改善点		
悩みの共有や情報交換をするピアサポート活動、災害対策活動、孤立防止活動、権利擁護や自立のための社会への働きかけを行う社会活動、障がい者等に対するボランティア活動等を実施している各団体に対し、活動資金の補助を行う。コロナ禍においても活動が行えるよう支援方法を検討していく。		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	補助対象団体：4件 補助金額：108,562円
分析	継続して6団体に対して補助を実施したが、コロナ禍で直接的な対面支援が実施できず、予定していた活動ができなかったことにより、5団体より補助金額の返還を依頼、うち2団体は全額返還という状況になった。

【Action】今後に向けた改善点

方針	

令和2年度	決算額	109千円
	うち 特定財源	47千円
成果実績		4件
当初の成果目標		6件
実施内容と改善点		
悩みの共有や情報交換をするピアサポート活動、災害対策活動、孤立防止活動、権利擁護や自立のための社会への働きかけを行う社会活動、障がい者等に対するボランティア活動等を実施している各団体に対し、活動資金の補助を行った。コロナ禍で対面支援が行えず、事業計画通りの活動が行えなかった団体が多かった。		



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		件
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
件		件

NEXT CYCLE